

ふらっと.come !

平成 22 年 1 月 4 日 第 12 号

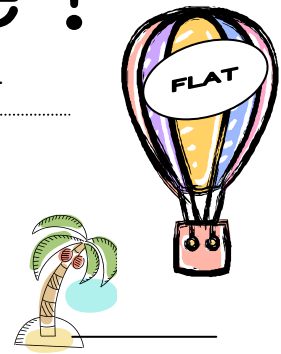
発行者 船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」

〒273-0011 船橋市湊町 2-1-5 MIIビル 101R

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



「初春を祝い、初春に期待すること」

【船橋福祉相談協議会 会長 宮代隆治】

「明けまして、おめでとうございます」、今年も“船橋福祉相談協議会”並びに“ふらっと船橋”をどうぞ宜しくお願い致します。

顧みますと、昨年は激動の年でした。戦後、半世紀以上続いた自民党政権に民主党が取って代り、新たな連立政権が誕生しました。

「コンクリートから人へ」、党首であり政治権力の中樞を担う人はこう述べられました。

戦後復興から高度経済成長へ、ひたすら国としての成長を旗頭に邁進の結果、この国は経済大国へと変貌することができました。同時に多くの問題も内包して来ました。

公害問題や貧富格差の問題、高齢化社会への対応、歪みを来した政治と行政の関係、そして国として莫大な債務を担う、国民生活の実相等などです。政権が変わるということは、政治の目指すところが変わるということ、即ち国民生活の諸相にわたりこれまでとは変化が生じるということです。このとき、「コンクリートから人へ」は何を意味してくるのでしょうか。

手前勝手な解釈をお許し下さい。それは、もっともっと国民が生活を楽しめる、どのような境遇であれ人としてこの国に生まれ、生活することを誇りに思えるような、そんな社会実現のために政治力を発揮するということであって欲しいのですが。更に具体的に言及すれば、早期に「障害者権利条約」を批准して欲しい。このことについては、幸い現政権も終始一貫早期批准を明言しています。国の指針、日本国憲法を障害の故をもって空文化させてはなりません。

憲法に謳われた基本的な人権や幸福の実現など、名実ともに国民として当然享受できる日を期して。今年こそ、この国も「障害者権利条約」を批准することを期待します。



「平成22年を迎えるにあたって」

【船橋市障害福祉課 課長 鈴木 隆】

皆様、明けましておめでとうございます。船橋市役所 障害福祉課長 鈴木 隆 です。

旧年中は船橋市の障害福祉施策にご協力いただき、ありがとうございました。

去年1年を象徴する漢字は「新」でした。新政権の発足、新型インフルエンザの流行等、今までにない新しい事が次々起きました。

障害福祉政策について、今年もこの流れを受けて、大きな変化が予想されます。

障害者施策を総合的かつ集中的（5年間）に改革するために、昨年12月に閣議決定により『障がい者制度改革推進本部』が内閣に設置されました。

この推進本部の下に、『障がい者制度改革推進会議』が設置され、障害当事者、福祉施設関係者及び学識経験者がその構成員となりました。これは、政策立案段階から当事者の意見を反映するようにするためです。

また、障害者自立支援法を廃案にし、『(仮称) 障がい者総合福祉法』の制定が予定されているとの新聞報道もなされております。

平成22年度中には、障害者自立支援法の枠組みの中で、住民税非課税世帯は、福祉サービスの利用者負担が無料となる旨の報道がなされており、4月から身体障害者手帳に肝臓障害も追加されます。

対外的には、『障害者権利条約』の批准及びそのための各種国内法の整備があります。障害者権利条約は、これまでの差別概念を覆し、『合理的配慮をしないことも差別である。』とした画期的な内容になっています。そして、この条約の最初の条約案をつくったのは、世界の障害者が集まった作業部会でした。

このように、国内外とも障害者福祉施策は当事者の参加、自己決定及び自己選択が当然となってきました。

障害福祉課としましても、施策を決定するに当たり、この点を十分に反映する必要があると考えております。また、より当事者の立場に立った施策を展開していく所存です。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとって、良いお年であることを祈念するとともに、より一層の障害福祉施策へのご協力をお願いして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「新年の抱負」

【ふらっと船橋 相談員 須崎郁生】

明けましておめでとうございます。

新年の抱負と言うことで、あみだ籤で「運よく」？当たってしまったので書かせていただきます。

ふらっとで働き始めたときから、痛感していることが、相談内容が多岐に渡るためそれに対応するための知識と経験の不足です。社会福祉士として権利擁護について期待されていますが、それについてもはなはだ覚束ない次第です。

そこで、今年の前半ぐらいで、頭の中にぼんやりと入っている障害年金関係や、障害関係の諸制度や障害の特性を脳にしっかりインプットしたいと思っています。

50代半ばを過ぎて記憶力と保持力に自信がなくなっていますので、「言うは易し行なうは難し」にならないよう、気を引き締めていかねばと思っています。

個人的には、やりたいことはそうないのですが、季節が良くなってきたところに、小旅行でもできたらと思っています。と言うことで、皆様今年もよろしくお願い申し上げます。

職員より・・・！

小出：今年の目標は☆前向きに、ポジティブに☆まずは自分を変える事が出来ますように！丁寧にしっかりと話を聴けますように！_初心戻ります。

齊藤：日々、謙虚な気持ちを忘れないようにしながら歩んで行きたいと思っています。本年も宜しくお願い申し上げます。

和田：健康には気をつけて、日々色々なことを吸収していく一年にしていきたいと思っています。

鈴木：今年も日々学びながら、頑張っていきたいと思います。

丸山：不惑を過ぎても迷う事が多くあります。今年も、迷いながら進みます。

お世話になった皆様へほんの気持ちのみですが・・・



今年も宜しくお願いします。 by 清水